

計画1

出題意図

西洋建築史，近代建築史，建築意匠などに関する専門的内容を問う問題

【解答例】

ミース・ファン・デル・ローエは、ヨーロッパ時代の代表的作品であるバルセロナ・パヴィリオンにおいて、十字形平面を成す鉄骨柱を、ガラスと大理石からなる被膜の内側に設けた。本作品において、ミースは地上階を大理石が貼った基壇から後退した位置に設けることで、両者を明確に区分した。

他方、アメリカ時代の代表的作品であるクラウン・ホールでは、I字形平面を成す鉄骨柱を、ガラス被膜の外側に設けた。本作品において、ミースは地上階と基壇を桁材によって区分するが、両者を同一構面に設けたガラス面のみで構成し、地上階と地下階が連続する採光面とした。(262字)

計画 2

出題意図

日本建築史，近代建築史などに関する専門的内容を問う問題

【解答例】

フランク・ロイド・ライトがこの建物で示した新しい建築空間の設計手法は、規模と形態の異なるヴォリュームを扉で仕切ることなく連続させることで、豊かな空間を演出したことである。具体的には、広い前庭から低い庇を持つ車寄とそれに連続する天井高の低い玄関を通過してメイン・ロビーに達すると、メイン・ロビーは3層吹き抜けの大空間になっている。さらにその両脇から狭い階段を通過して中2階に入るとそこも2層吹き抜の空間であり、そこから玄関上部にあがるとメイン・ロビーを臨むティー・テラスがある。これらは、天井高の高い3層吹き抜の玄関ホールを中心に天井高の低い玄関や喫茶室を接することでヴォリューム形態の多様性を認識させている。(300字)

計画 3

出題意図

都市計画などに関する専門的内容を問う問題

【解答例】

(1) 名古屋市の都市計画草創期に、実現手法として土地区画整理事業の導入に尽くし、都市計画の基礎を築いた。しかし、その工業都市の姿がアンウィンに人生を欠いていると指摘され、人生を再考し、実用価値を離れ、夜の都市計画論や都市美運動を展開した。東京都の都市計画課長として東京の戦災復興計画に従事し、その後都市計画学会の発足に尽力、早稲田大学で都市計画を教えた。

(174 文字)

(2) ロンドン都心部のオリンピック会場の都市計画では、競技施設を含む公園を中心にオリンピック後のレガシープランが作成された。河川沿いの環境汚染を改善し、健康をテーマに住民参加が行われ、現在までにオリンピックパークが開設、子どもや若者を中心とした都市再生が実現している。この計画の中で、ランドスケープの役割は、移民や治安、環境汚染の問題を改善し、子どもたちが健康で暮らすことができる環境を優先したオープンスペースづくりにある。

(209 文字)

計画 4

出題意図

建築計画（各種建物）などに関する専門的内容を問う問題

【解答例】

わが国では図書館法(1950)が施行され、今日に続く公共図書館整備が始まった。1950年代の公共図書館の多くは学生の自習のために機能しており、一例として、八戸市立図書館（1960）では一般閲覧スペースにより多くの面積が割かれている。1960年代になると貸出重視の図書館が各地に誕生し、児童サービスも重視され、各地の図書館で貸出冊数や図書館数の増加が起きた。1980年代に入ると、図書館の大規模化や文化施設等との複合化が行われるようになった。さらに1990年代からは、滞在型や課題解決型と呼ばれる公共図書館が登場し、図書の閲覧や貸出だけでなく、さまざまな目的で来訪可能な図書館づくりが進んだ。せんだいメディアテーク（2000）は一つの到達点である。

(300字)

計画 5

出題意図

建築計画（各種建物）などに関する専門的内容を問う問題

【解答例】

和小屋は、小屋梁の上に束を立てて棟木を支え、母屋と垂木で屋根を構成する。水平・垂直材が主で部材の接合も簡易だが、梁間に応じて梁の部材断面が大きくなるので、大きな梁間には向かない。

洋小屋は、陸梁、合掌、束、方杖などの部材全体で三角形のトラスを構成する。部材の接合は金物を用いて堅固にし、比較的大きな梁間に使用できる。（計 156 字）

図については、内田祥哉編著の『建築構法（第四版）』（市ヶ谷出版社、2003年第3刷）、p. 122の図2・128を参照。